

番号	項目	ご意見	町の考え方
1	全体	具体的施策についての振り返りから各項目の内容を訂正されていないように思います。施策の実践を振り返り、PDCAサイクルを生かした標記が必要だと思います。	第2次教育大綱の施策のなかで、継続して進める事業につきましても、内容の変更をしていない事業もあります。大綱に基づき実施する具体的な事業はPDCAサイクルにより改善してまいります。
2	全体	この教育大綱と信濃小中学校の教育目標や教育課程、具体的な教育活動とのつながりが大事だと思います。	ご意見のとおりだと考えております。教育大綱が学校運営に反映されたものとなるよう学校と連携してまいります。
3	3 多様な学習機会と世代間交流を促す環境づくり (4) 読書のまちづくりの推進	町に図書館がないなかで読書のまちづくりを推進していくには公民館各支館への図書整備が必要ではないでしょうか。4支館を活用した図書の整備を考えていただければと思います。	ご意見のとおり、読書のまちづくり推進の中で図書整備が必要と認識しております。限られた予算での図書の充実や利用者の利便性をどう課題解決していくのか検討していきたいと考えます。
4	6 (3) 人権教育・啓発の推進	「学校」の記述が消えているのはなぜでしょうか。人権教育の推進に学校の果たす役割は大きいと思います。学校における人権教育の推進に触れておく必要があると思います。	第2次教育大綱では、「学校・家庭・地域・職場などさまざまな場」と記述しており、学校という記述を消したという認識ではありません。更に、人権では近年の「ダイバシティ（多様性）」という言葉が認知されていることから、町の長期振興計画に併せた標記としました。
5	7 安心して子どもを産み育てることのできる環境づくり (4) インクルーシブ教育の推進	インクルーシブ教育ということばで項立てするのであれば「6 共に生きるまちづくり」のなかに入れるべきではないでしょうか。また、特別支援教育とインクルーシブ教育の関係性をはっきりさせるため、2文に分けた方がよいのではないのでしょうか。	「インクルーシブ教育」について、多様な学びの場を用意し、その子に適した教育を提供し子育て支援の充実を図ることを目的としており、「7 安心して子どもを産み育てることのできる環境づくり」で項立てしています。ご意見のとおり、特別支援教育とインクルーシブ教育の記述を2文に分け、関係性を明確にします。